

## INVEST Mexico セミナー

2014年10月8日

本日、在日メキシコ大使館エスパシオ・メヒカーノ（多目的ホール）にて、プロメヒコ主催、大使館後援の「INVEST Mexico セミナー」が開催され、シエサ（CIESA）、ホワイト・アンド・ケース（White & Case）、マラビス（Marabis）の各社が参加した。

開会の辞で、臨時代理大使は、メキシコが投資対象国として世界最良のオプションのひとつである旨を強調した。その証左として、計 350 億ドル以上のメキシコへの投資（2013 年）を行なった 5,000 を超える外資企業の存在があげられる。このうち 15 億 3,800 万ドル（全体の 4.4%に相当）は、日本企業によるものであり、メキシコの FDI（海外からの直接投資受入額）の国別ランキングでは、日本は世界レベルで第 4 位、アジア域内では第 1 位のビジネスパートナーである。

貿易および投資関連のビジネス実現に向けメキシコが提供する大きな利点や機会を利用し、今日では主に自動車関連分野の 800 社を超える日本企業がメキシコに進出している。その利点とは、絶好の地理的ロケーション、専門性の高い若い労働人口、連邦政府や州政府が供与する投資家たちにとって魅力的なインセンティブであり、また、我が国との間に経済連携協定を締結している日本（墨日 EPA、2005 年 4 月発効）を含む世界の主要経済圏に通じる自由貿易協定や EPA に基づく広大な経済連携網である。

また、現在、自動車関連部門の進出が墨日関係の大半を占めているが、ペニャ・ニエト政権が着手している諸改革により、二国間関係が強化されることはもとより、今後数年のうちに、日本企業が強い関心を示しているエネルギーや情報通信等の他分野にその効果が及ぶものと予測されている、ことについても述べられた。

参加した 50 社を超える企業にとって今回のセミナーは、メキシコのビジネス環境についての有益かつ最新の情報、外国企業がメキシコに拠点を設立した際に想定しうるシナリオとチャレンジ、またプロジェクトをスムーズに実行するための具体的な方法などの情報を得る機会となった。



INVEST Mexico セミナー参加者